

令和8年度学校図書館活用教育普及講座（講義1）

令和8年7月

学校の読書バリアフリーはじめての一步

青山学院大学教授

野口 武悟

1.国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の基本的方針

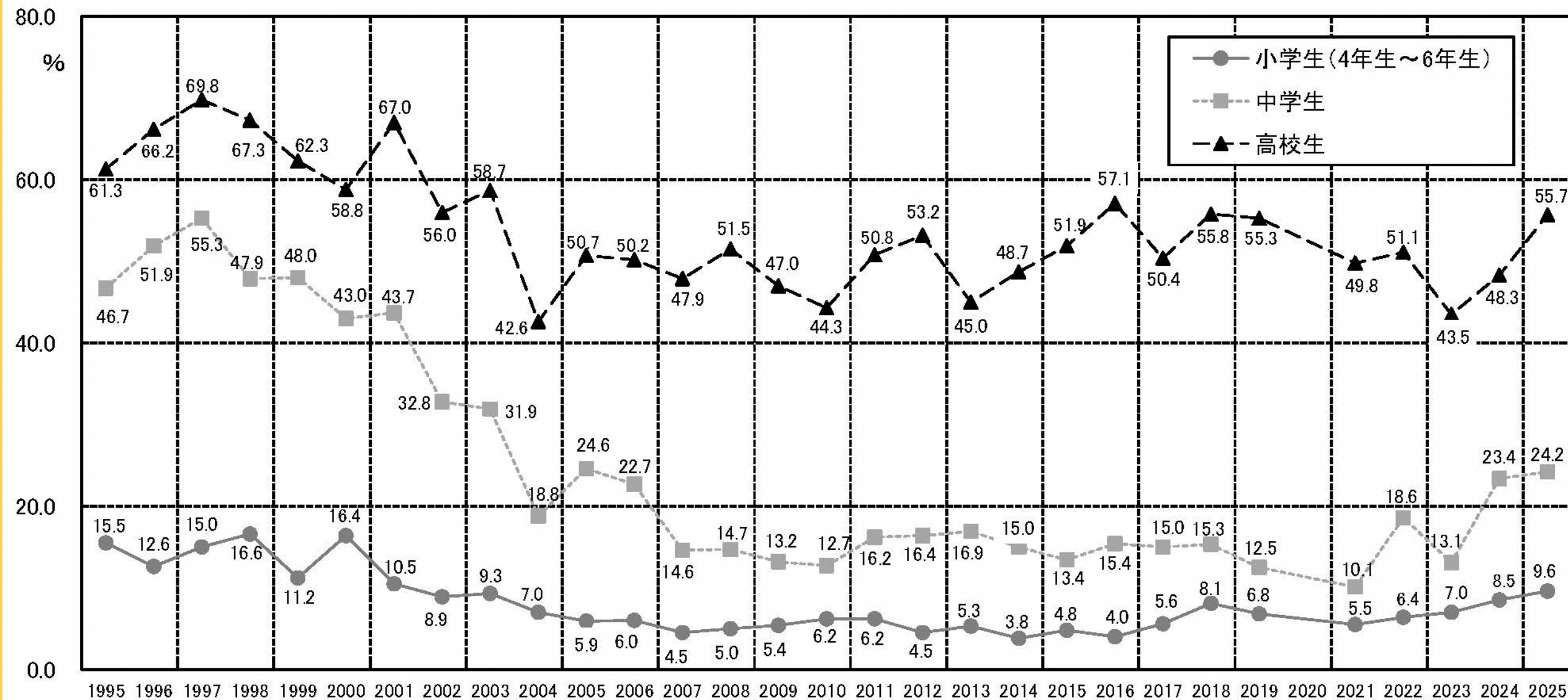
- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年制定）に基づき、5年ごとに策定
- 現行の計画は、**令和5年3月に閣議決定**
 - ⇒令和5年度～令和9年度
 - ⇒今後の学校図書館、子どもの読書活動推進の方向性を示す

・4つの基本的方針

①不読率の低減

- ・就学前からの読み聞かせ等の促進
- ・入学時等の学校図書館のオリエンテーション等の充実
- ・不読率が高い状態の続く高校生：探究的な学習活動等での図書館等の活用促進
- ・大人を含めた読書計画の策定等

過去31年分の不読者(0冊回答者)の推移



②多様な子どもたちの読書機会の確保

- ・ 障害のある子ども，日本語指導を必要とする子ども等，多様な子どもの可能性を引き出すための読書環境を整備

③デジタル社会に対応した読書環境の整備

- ・ 社会のデジタル化，GIGAスクール構想等の進展等を踏まえ，言語能力や情報活用能力を育むとともに，緊急時等を含む多様な状況における図書への継続的なアクセスを可能とするために，図書館及び学校図書館等のDXを進める

④子どもの視点に立った読書活動の推進

- ・子どもが主体的に読書活動を行えるよう，子どもの意見聴取の機会を確保し，取組に反映させる

2.多様な子どもたちの読書機会の確保に向けて

②多様な子どもたちの読書機会の確保

- ・ 障害のある子ども，日本語指導を必要とする子ども等，**多様な子どもの可能性を引き出すための読書環境を整備**

特別支援学校等の児童生徒の増加の状況(H27→R7)



- 直近10年間で義務教育段階の児童生徒数は1割減少する一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数は倍増。
- 特に、特別支援学級の在籍者数（2.1倍）、通級による指導の利用者数（2.2倍）の増加が顕著。

義務教育段階の全児童生徒数

(平成27年度) 1,009万人 → (令和7年度) 911万人
0.9倍

特別支援教育を受ける児童生徒数

36.2万人 3.6% → 71.1万人 7.8%
2.0倍

特別支援学校

視覚障害 聴覚障害 知的障害
肢体不自由 病弱・身体虚弱

7.0万人 0.7%

9.0万人 1.0%
1.3倍

小学校・中学校

特別支援学級

知的障害 肢体不自由
身体虚弱 弱視 難聴
言語障害 自閉症・情緒障害

20.1万人 2.0%

42.0万人 4.6%
2.1倍

通常の学級（通級による指導）（注）

言語障害 自閉症 情緒障害 弱視 難聴
学習障害 注意欠陥多動性障害
肢体不自由 病弱・身体虚弱

9.0万人 0.9%

20.1万人 2.1%
2.2倍

（注）通級による指導を受ける児童生徒数（20.1万人）は、最新の調査結果である令和5年度通年（国公立）の値を用いている。
なお、平成27年度の通級による指導を受けている児童生徒数（9.0万人）は、5月1日時点（公立のみ）の値。

※矢印内の数値は、令和7年度（通級による指導については令和5年度）の児童生徒数を平成27年度の児童生徒数で除し、小数第1位未満を四捨五入したものの。

『令和8年度障害者
白書』，2025年

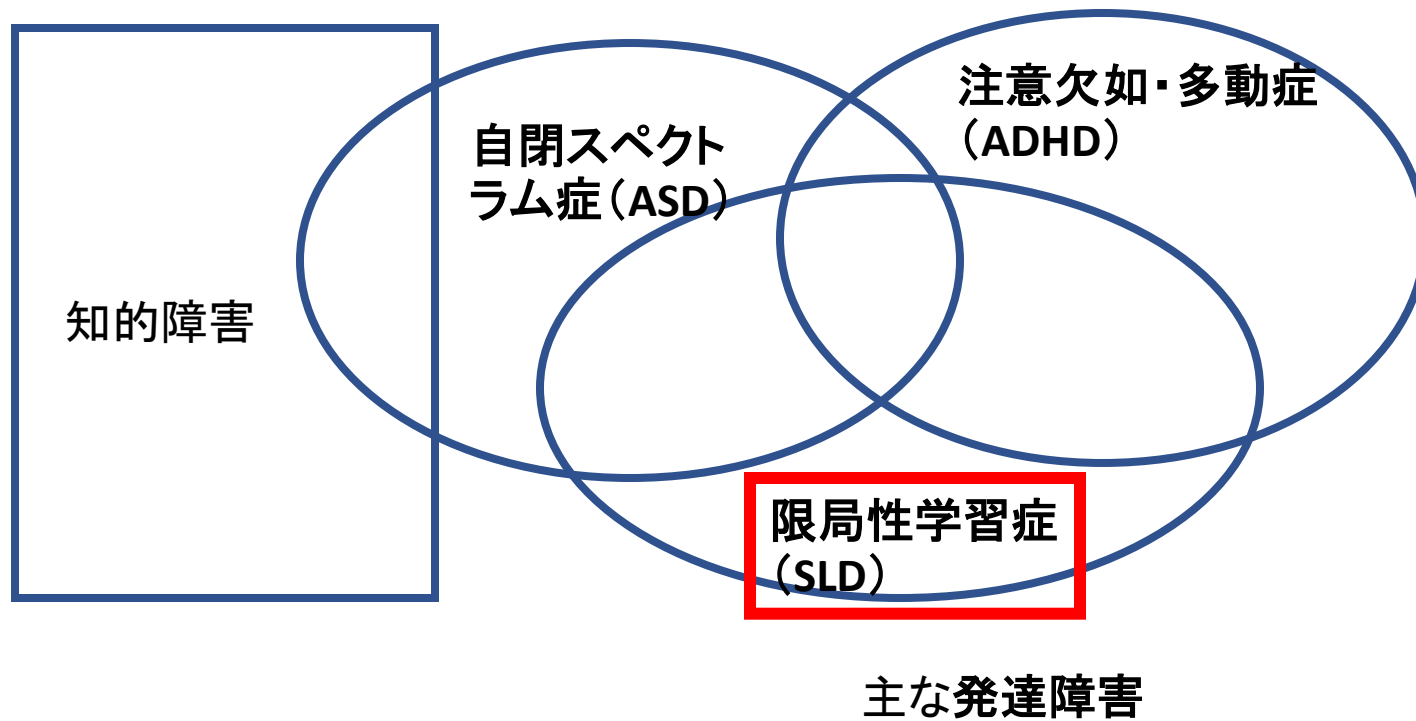
<小学校・中学校>¹

	推定値（95%信頼区間）
学習面又は行動面で著しい困難を示す	8.8%（ 8.4% ～ 9.3% ）
学習面で著しい困難を示す	6.5%（ 6.1% ～ 6.9% ）
行動面で著しい困難を示す	4.7%（ 4.4% ～ 5.0% ）
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	2.3%（ 2.1% ～ 2.6% ）

<高等学校>

	推定値（95%信頼区間）
学習面又は行動面で著しい困難を示す	2.2%（ 1.7% ～ 2.8% ）
学習面で著しい困難を示す	1.3%（ 0.9% ～ 1.7% ）
行動面で著しい困難を示す	1.4%（ 1.0% ～ 1.9% ）
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	0.5%（ 0.3% ～ 0.7% ）

文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(令和4年)」，2022年



*** 限局性学習症 = 学習障害 (LD) 。ディスレクシア (発達性読み書き障害) を含む**

悪い出して下さい。あなたの
クラスにこんな子は、いませ
んでしたか。黒板をノートに
写し取るのに時間がかかる
子。ノートのマスから文字が
はみ出してしまふ子。本読み
がつまりつまりでしか読め
ない子。きつといたことと思
います。彼らは、そうしたく
てしていたのでしょうか。そ
れとも、がんばっていたのだ
けれど、そうになっていたの
でしょうか。

文字がにじんで見える

悪い出して下さい。あなたの
クラスにこんな子は、いませ
んでしたか。黒板をノートに
写し取るのに時間がかかる
子。ノートのマスから文字が
はみ出してしまふ子。本読み
がつまりつまりでしか読め
ない子。きつといたことと思
います。彼らは、そうしたく
てしていたのでしょうか。そ
れとも、がんばっていたのだ
けれど、そうになっていたの
でしょうか。

文字がゆらいで見える

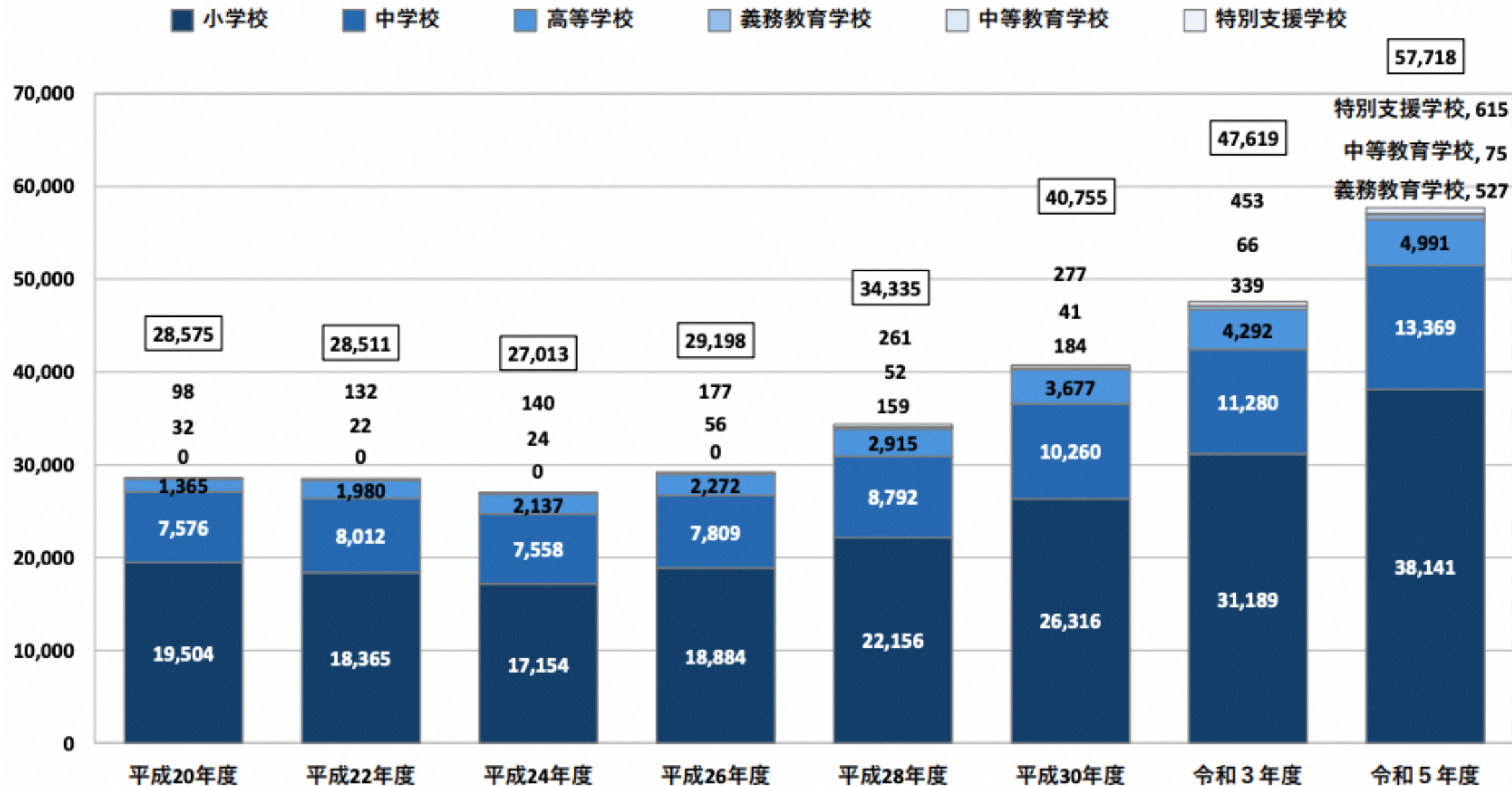
悪い出して下さい。あなたの
クラスにこんな子は、いませ
んでしたか。黒板をノートに
写し取るのに時間がかかる
子。ノートのマスから文字が
はみ出してしまふ子。本読み
がつまりつまりでしか読め
ない子。きつといたことと思
います。彼らは、そうしたく
てしていたのでしょうか。そ
れとも、がんばっていたのだ
けれど、そうになっていたの
でしょうか。

鏡文字となって見える

悪い出して下さい。あなたの
クラスにこんな子は、いませ
んでしたか。黒板をノートに
写し取るのに時間がかかる
子。ノートのマスから文字が
はみ出してしまふ子。本読み
がつまりつまりでしか読め
ない子。きつといたことと思
います。彼らは、そうしたく
てしていたのでしょうか。そ
れとも、がんばっていたのだ
けれど、そうになっていたの
でしょうか。

文字がかすんで見える

・ 日本語指導を必要とする外国籍の児童生徒の状況



文部科学省「令和5年度 日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について」

• 法律等の整備の進展

2016年4月 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（**障害者差別解消法**）施行

→すべての公立学校に「**合理的な配慮**」提供義務

2016年11月 文部科学省「**学校図書館ガイドライン**」通知

→「発達障害を含む障害のある児童生徒や日本語能力に応じた支援を必要とする児童生徒の自立や社会参画に向けた主体的な取組を支援する観点から、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた様々な形態の図書館資料を充実するよう努めることが望ましい。例えば、**点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック、マルチメディアデジタル図書、外国語による図書、読書補助具、拡大読書器、電子図書等の整備も有効である。**」

2019年1月 **改正「著作権法」施行**

→すべての学校図書館・公共図書館において、**視覚障害者等のために音声化，電子化等の複製と公衆送信が著作権者に無許諾で可能（第37条第3項）**

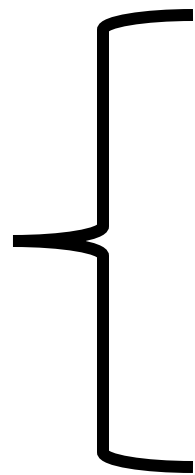
2019年6月 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」
（読書バリアフリー法）施行

→「障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与することを目的」

→**学校図書館も施策対象**

【参考】

・バリアフリー資料



市販の書籍・電子書籍

特定書籍・特定電子書籍

※特定書籍・特定電子書籍：著作権法第37条第1項～第3項規定にもとづき，図書館等で視覚障害者等のために複製した書籍・電子書籍のこと。視覚障害者等のために公衆送信も可能。

→図書館等で視覚障害者等のために複製された点字図書，拡大写本，音声DAISY，マルチメディアDAISYなどのこと

【参考】 視覚障害者等＝障害により視覚による表現の認識が困難な者

視覚障害
聴覚障害
肢体障害
精神障害
知的障害
内部障害

発達障害
学習障害
いわゆる「寝たきり」の状態
一過性の障害
入院患者
その他図書館が認めた障害

※ 「障害者手帳」の有無は問わない

日本図書館協会・全国学校図書館協議会ほか「**図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン**」（2019年11月一部改定）

2020年7月 国の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」（読書バリアフリー基本計画）策定（**2025年4月からは第二期計画に移行**）

→**学校図書館も施策対象**

2021年3月 鳥取県の「視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」（読書バリアフリー計画）策定（**2026年3月に改訂**）

2024年7月 改正「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」 **（教科書バリアフリー法）**
施行

→ **日本語指導が必要な外国籍等の児童にも，教科用特定図書等（拡大教科書，音声教材等）の使用が可能に**

2025年3月 鳥取県の「**子どもの読書活動推進ビジョン（第5次計画）**」策定

→ 方策として「**特別な配慮を必要とする子どもへの支援**」を明示

2025年6月 「手話に関する施策の推進に関する法律」 **（手話施策推進法）** 施行

2026年3月 文部科学省「図書館・学校図書館の運営の充実
に関する有識者会議」**報告書『図書館が拓く未
来の学びと地域社会』**公表

[https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01613.ht
ml](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_01613.html)

【報告書の骨子】

1. 地域の「ハブ」、学校の「中心」を担う図書館を目指して

- ▶ 学びの深化を担い、一人一人の「好き」を育み「得意」を伸ばす居心地の良い学校の「中心」へ

2. 全ての人に開かれた図書館サービスの構築に向けた方策

- ▶ ユニバーサルアクセスの実現に向けて
- ▶ 対話と活動による地域の連携・協働の一層の推進
- ▶ 図書館・学校図書館を支える人材の充実

3. 図書館・学校図書館に係る制度・基準の見直し

- ▶ 「学校図書館図書標準」「学校図書館ガイドライン」等の改正の検討

- 多様な子どもの可能性を引き出す読書環境づくりのポイント

- (1) 多様なニーズに配慮した資料等の整備**

- (2) 多様なニーズに配慮したサービスや活動の実施**

- (3) 館内サイン等の改善**

- (4) 校内外の協力・連携**

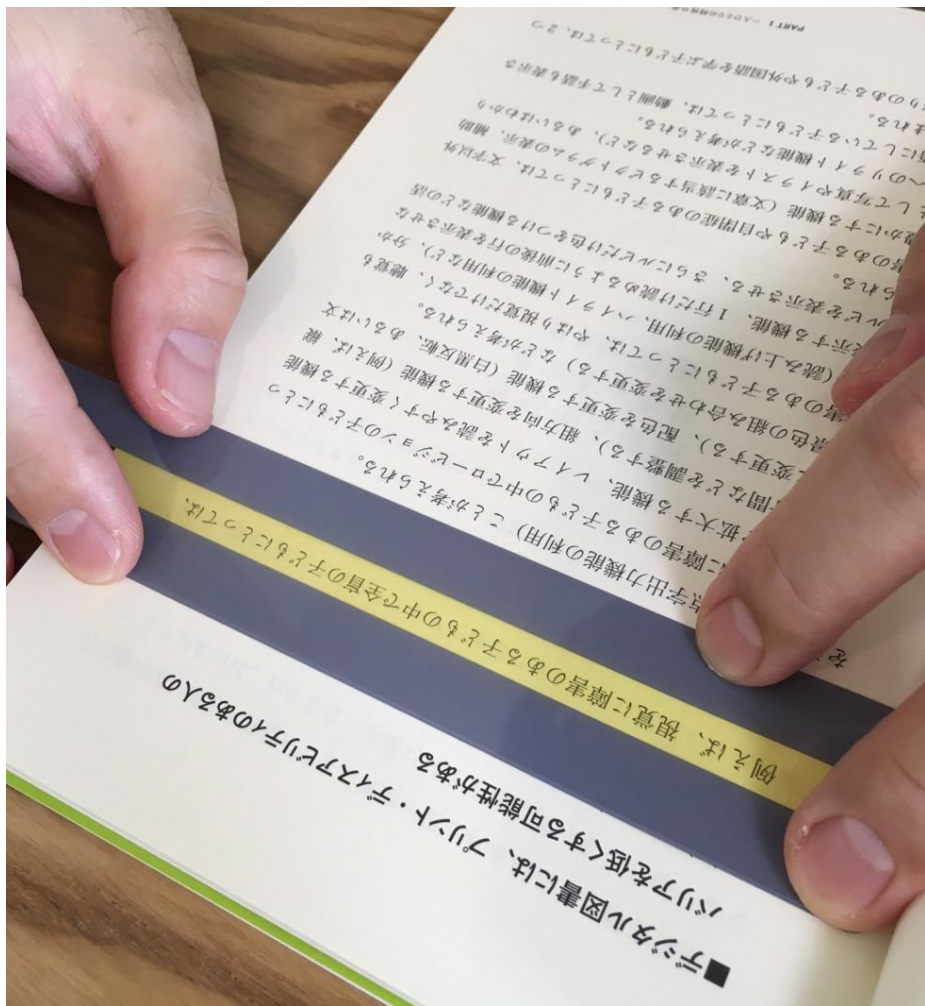
(1) 多様なニーズに配慮した資料等の整備

**【参考】文部科学省「学校図書館ガイドライン」
(2016年11月通知)**

「発達障害を含む障害のある児童生徒や日本語能力に応じた支援を必要とする児童生徒の自立や社会参画に向けた主体的な取組を支援する観点から、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた様々な形態の図書館資料を充実するよう努めることが望ましい。例えば、**点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック、マルチメディアデイジー図書、外国語による図書、読書補助具、拡大読書器、電子図書等の整備も有効である。**」

① 読書補助具の整備

ex) リーディングトラッカー (写真) など



書見台



② バリアフリー資料の整備

ex) 音声資料, 大活字本, LLブック, マルチメディアDAISY など



前:通常の青い鳥文庫

奥:拡大版(A5サイズ、210mm×148mm)



手前:通常の青い鳥文庫 奥:拡大版

LLブック

※主に知的障害のある児童生徒や外国にルーツのある日本語指導が必要な児童生徒などに向けて、やさしい日本語で読みやすく作られた本。本文の意味理解を助けるためにピクトグラムが添えられている作品が多い。



ゲームセンターに 遊びました。
「光司、勝負しようか」。
1人、2人、3人。
行けば、たくさんの 友だちがいます。
友だちといっしょに レースゲームを しました。



こうじ ともだち あそび ゲーム

ゲームセンターには 2時間でも 3時間でも います。
「調子はどうなのよ」。
また 友だちが 声をかけてきました。



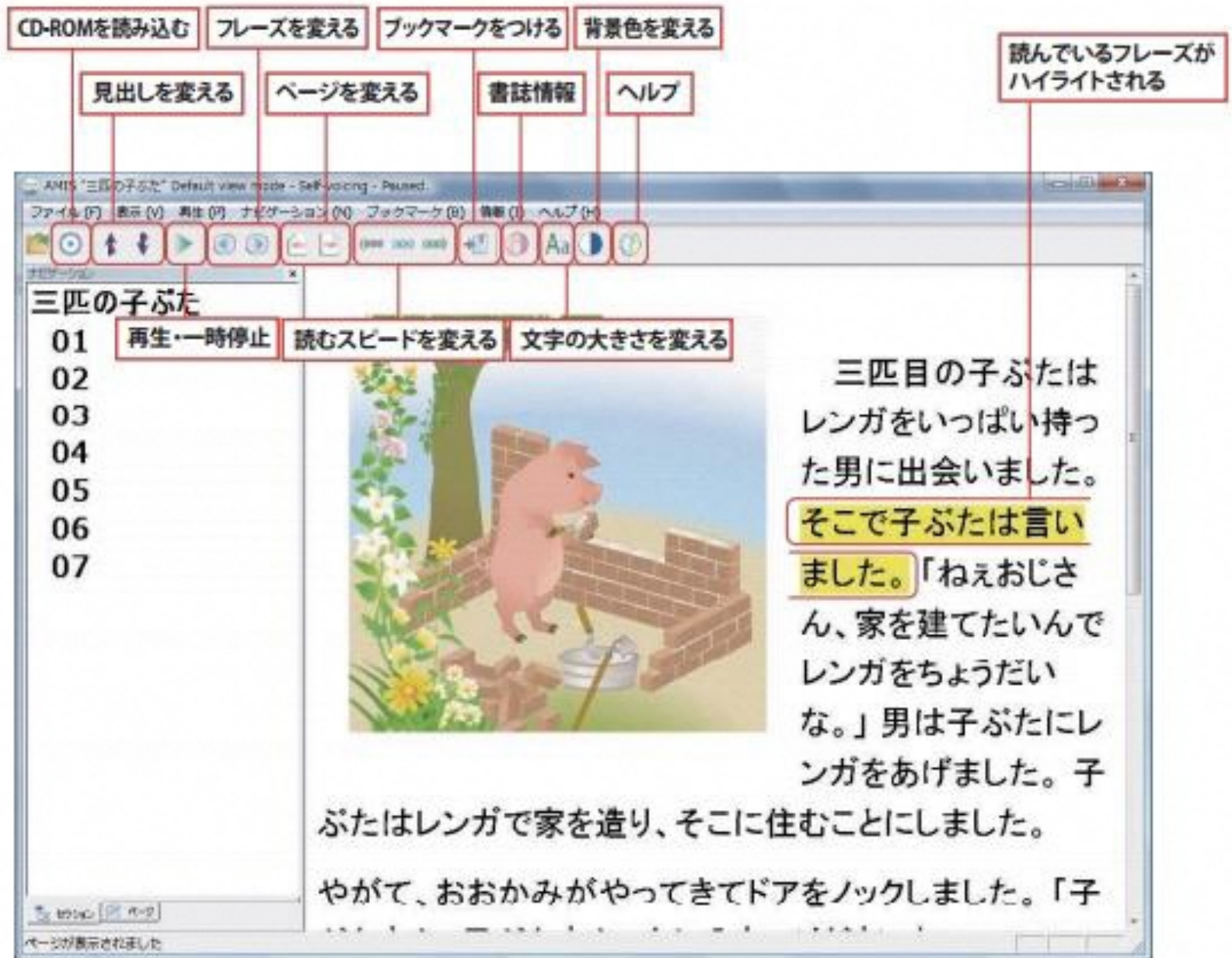
こうじ あう ともだち ゲームセンター



出典：大垣勲男・野口武悟監修『魚屋の仕事：光司さんの1日（仕事に行ってきます
⑧）』埼玉福祉会出版部，2020年

マルチメディア DAISY

※ディスレクシアや
知的障害の児童生徒
に適している。
※CDでは（公財）
伊藤忠記念財団が学
校・図書館向けに無
償寄贈している。



※「デイジー子どもゆめ文庫」（日本障害者リハビリテーション協会）

こぶんこ
デイジー子どもゆめ文庫

DREAM
and
JUMP

デイジー
こぶんこ
子どもゆめ文庫とは？

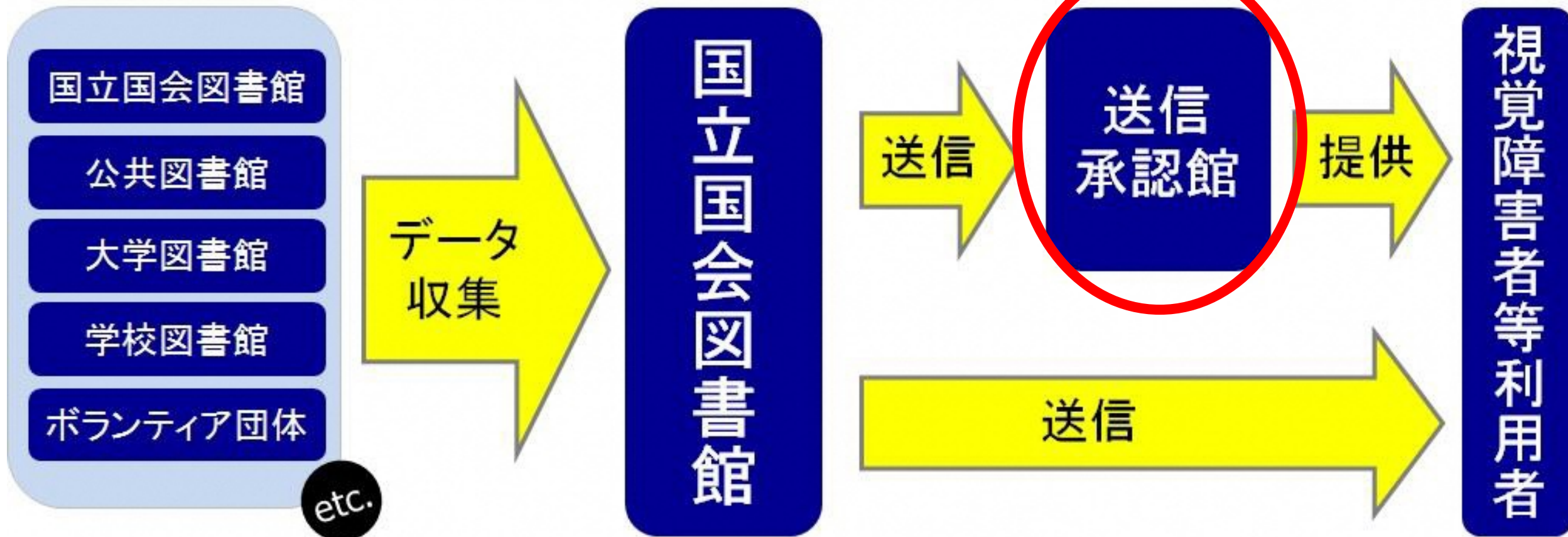
かいいん
会員になるには？

とあさき
お問い合わせ先

おしらせ

ログイン

※「視覚障害者等用データ送信サービス」（国会図書館）からも入手可能



出典：国立国会図書館のウェブサイト

学校でも広がり始めた電子書籍サービスの活用も有効

▶ 拡大や音声読み上げ可能なコンテンツもあり

【公立学校における電子書籍サービスの全国的な導入率】

〔2024年度〕 〔2020年度〕

- ▶ すべての学校に導入している自治体： **6.7%** ← **0.5%**
- ▶ 一部の学校に導入している自治体 ： **7.6%** ← **1.5%**

※まだ少数にとどまるが、 **増加傾向**

（文部科学省「令和6年度子供の読書活動の推進等に関する調査研究」， 2025年）

学校段階別の電子書籍サービス導入率（令和6年度）

教育機関	基本情報：学校数	導入校数	導入率
小学校	15,093	1,882	12.5%
中学校	7,377	859	11.6%
高等学校	3,461	186	5.4%
特別支援学校	1,014	51	5.0%
義務教育学校	191	24	12.6%
中等教育学校	42	2	4.8%

多言語電子絵本

多言語絵本の会 (MULTILINGUAL PICTURE BOOK CLUB)

RAINBOW

国を超えて移動する子どもが母語を忘れないように、日本語で育つ子どもが外国語に関心をもつように

Wish that children who move across countries do not forget their mother tongue,
and for children who grow up in Japanese to develop an interest in foreign languages.

多言語電子絵本



- にほんご
- えいご
- ちゅうごくご
- かんこくご
- ポルトガルご

♪ 子どもの歌



外国語でうたう
子どもの歌、カラオケ付き
(親が子どもに伝えたい歌)
ポーランドご 3曲
ちゅうごくご

☆ 活動紹介

- RAINBOWについて
- 作品リストのちらし
- CHATTYBOOKSのつかいかた
- 多言語よみきかせ
- 学校訪問事業
- 日本語学習教材「きいてはなして まねして」



- にほんご
- えいご
- ちゅうごくご
- かんこくご
- ポルトガルご
- スペインご
- インドネシアご
- フィリピンご
- ベトナムご
- ネパールご
- タイご
- ロシアご
- その他のアジアのことば
- その他のヨーロッパのことば
- アラビアご
- スワヒリご

Português (Portuguese)

LISTA DE VÍDEOS



Estátuas de Jizou (にほんご付きChattybook)



Princesa Kaguya (にほんご付きChattybook)



O velhinho que fazia



Bom dia e Boa noite(にほんご付きChattybook)



Número



Ponto com Ponto (Chattybook)

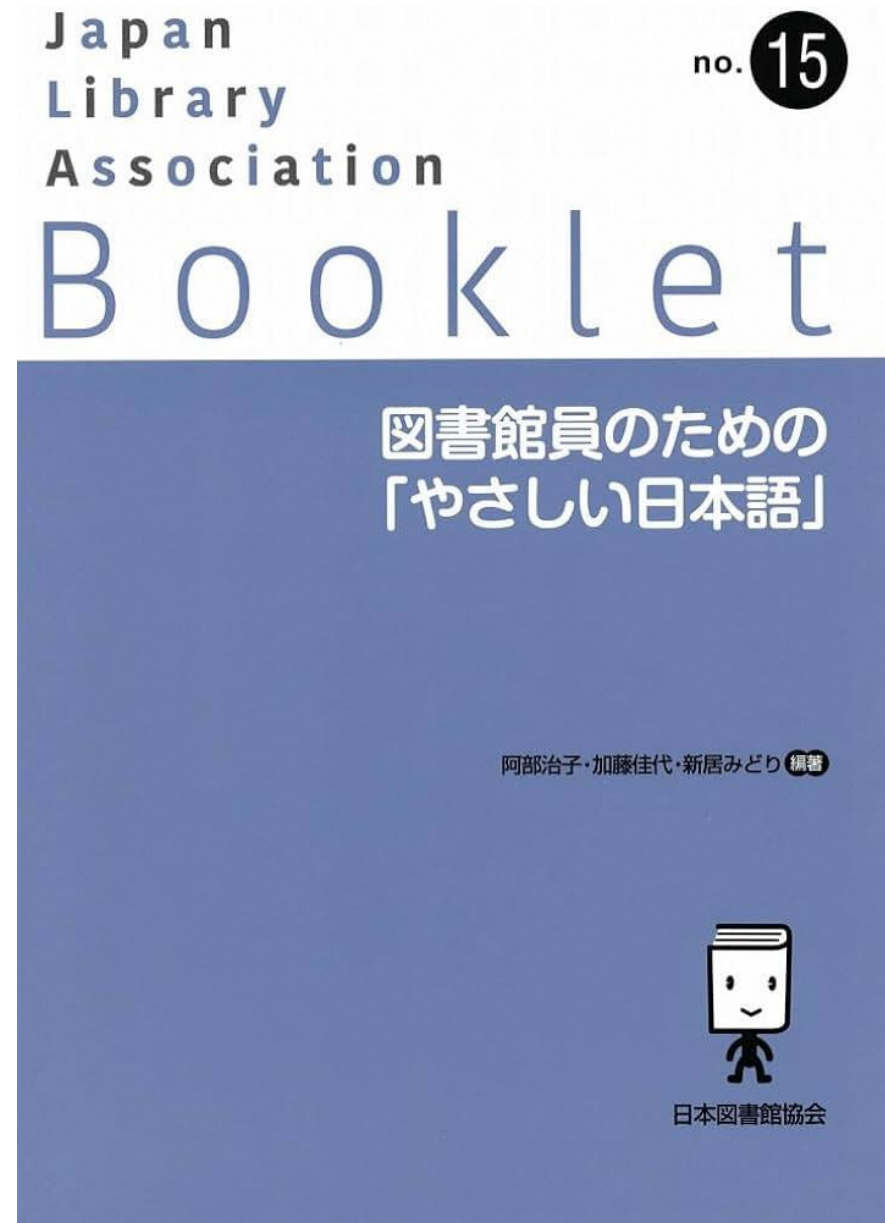


Eezo, Carlos (Chattybook)



「やさしい日本語」による情報提供も有効

阿部治子・加藤佳代・新居みどり
編著
『図書館員のための「やさしい日
本語」(JLA Booklet 15)』
(日本図書館協会, 2023年11
月)



「やさしい朝日新聞」

https://yasashii.asahi.com

→ 「やさしい日本語」で書かれたニュースサイト

朝日新聞

やさしい朝日新聞

ふりがな

わかち書き

このサイトについて

お問い合わせ

しょう さかぐち きたがわ

ノーベル賞をもらった坂口さんと北川さん

はくぶつかん

が、博物館のいすにサインをしました

ねん がつようか じ ふん ねん がつようか じ ふんこうしん

2025年12月8日 15時40分 (2025年12月8日 18時06分更新)

かがく 科学

こくない 国内

こくさい 国際



せいじ 政治

しゃかい 社会

けいざい 経済

こくない 国内

こくさい 国際

※QRコードでデジタルコンテンツにアクセスできるようにする図書館も



(出典：東京学芸大学「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」)

【学校図書館におけるバリアフリー資料整備の現状】

（文部科学省「令和2年度学校図書館の現状に関する調査」より）

	点字図書	拡大文字図書	録音図書	マルチメディア デージー図書	LLブック
小学校	42.5%	15.5%	5.2%	1.3%	6.2%
中学校	19.6%	16.5%	5.7%	1.0%	4.0%
高等学校	12.3%	8.7%	10.9%	0.6%	2.2%
特別支援学校 （小学部）	20.7%	22.3%	17.9%	25.8%	10.8%

- これらのバリアフリー資料は商業出版・流通がまだ少なく，購入して収集可能なものが限られている

→ **公立図書館等との連携によるシェアが重要**

【学校図書館と公立図書館との連携状況】

	公共図書館との連携	うち、資料の貸借
小学校	86.0%	95.6%
中学校	65.4%	88.7%
高等学校	54.5%	91.7%
特別支援学校 (小学部)	41.6%	83.2%

(文部科学省「令和2年度学校図書館の現状に関する調査」)

【学校図書館におけるバリアフリー資料の取り寄せ実施状況】

- ▶ 小・中・高校等の学校図書館：4.7%
- ▶ 特別支援学校の学校図書館：12.0%

(文科省委託「学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」2022年度調査)

・「りんごの棚」づくりのススメ

※「りんごプロジェクト」

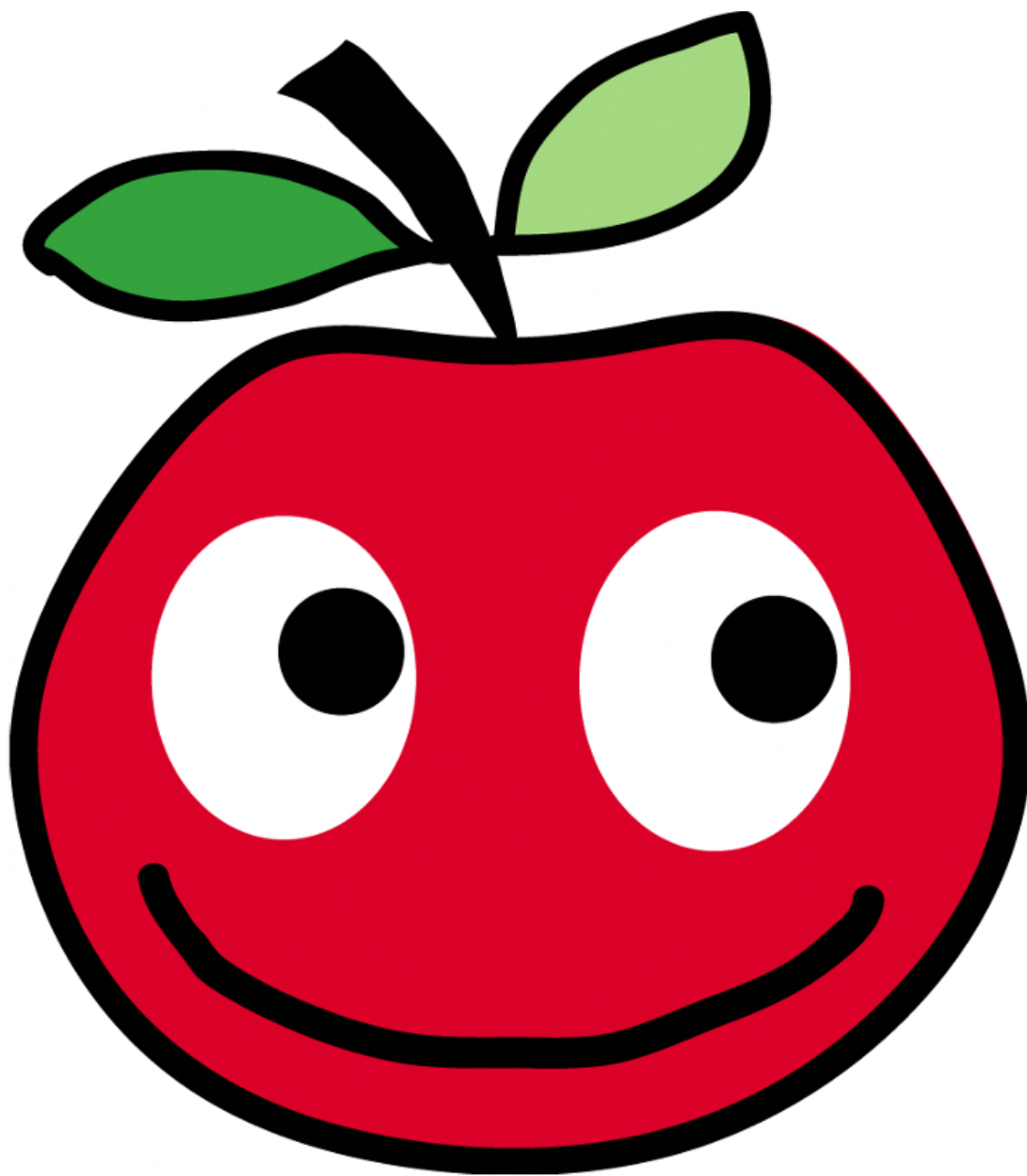
https://peraichi.com/landing_pages/view/ringoprojectbook



- 「りんごの棚」とは

→いまから30年ほど前に北欧のスウェーデンで生まれた
取り組みで、次のようなねらいがある

- (1) バリアフリー資料等への認識・理解を広める
- (2) バリアフリー資料等を書架に埋もれさせない
- (3) バリアフリー資料等を利用しやすくする



【シンボルマーク使用上の注意事項】

- ・ 非営利であること
- ・ 教育目的の使用であること
- ・ 改変しないこと

世界図書館情報会議(WLIC)2010年
イエーテボリ
スウェーデン国立録音点字図書館
(TPB)
ジェニー・ニルソン(Jenny Nilsson)

- 「りんごの棚」づくりの事例：K小学校（神戸市）
 - ▶ 2024年2月 野口が訪問して、図書委員会で子どもたちに
バリアフリー資料や「りんごの棚」について講話
 - ▶ 2024年3月 **図書委員の子どもたちも一緒になって**「りんごの棚」づくり
 - 所蔵する資料
 - 文字・活字文化推進機構から体験セットも借用

(公財) 文字・活字文化推進機構が
2023年12月よりバ
リアフリー資料の
セットを学校図書
館等に無償で貸出
す事業をスタート





(2) 多様なニーズに配慮したサービスや活動の実施

→読書活動や図書館利用における**合理的な配慮の提供**

ex) 貸出期間・冊数の延長, 代読（対面朗読）（下の写真）の
実施, 多感覚を使った読書活動（次の写真） など

※保護者・ボランティア人材の協力を得ることも有効



〔多感覚を使った読書活動〕

- ものに触れる
- 香りを添えて
- 手話とともに
- 手遊びや歌と一緒に
- 多言語で



【参考】東京都立多摩図書館編 『特別支援学校での読み聞かせ
～都立多摩図書館の実践から～ 増訂版』（2024年3月）



(3) 館内サイン等の改善

→文字の大きさ, 文字のフォント, 色づかい, 表現, ピクトグラムなど

ex) ピクトグラム (絵記号) の併用

- ▶ JIS規格のピクトグラムは「共用品推進機構」のウェブサイトからダウンロード可能

https://www.kyoyohin.org/ja/research/japan/jis_t0103.php

- ▶ **NDCのピクトグラム**は「キハラ」のウェブサイトから利用可能

<https://www.kihara-lib.co.jp/yomimono/2019/12/23/94843>



(4) 校内外の協力・連携

・校内体制づくり

→校内の特別支援組織との情報共有、協力

→教職員研修での「読書バリアフリー」に関する教職員研修

→PTAと連携した保護者向け講演会の実施

※館長＝校長のリーダーシップ

・校外との連携

→公立図書館，学校図書館等との連携

※市立盲特別支援学校の図書館は，他校にも支援

→社会福祉協議会，ボランティアグループ等との連携

【読書バリアフリーに関する情報を掲載するウェブサイト】

文部科学省委託「学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム」（東京大学）



- 複製・翻案・提供
- 事例で学ぶ
- よくある質問



学校や図書館で働くみなさ〜ん! 著作権法第37条により、視覚障害や肢体不自由、発達障害や学習障害等、読むことに困難のある方々へ、著作物の複製・譲渡・公衆送信が可能となりました!

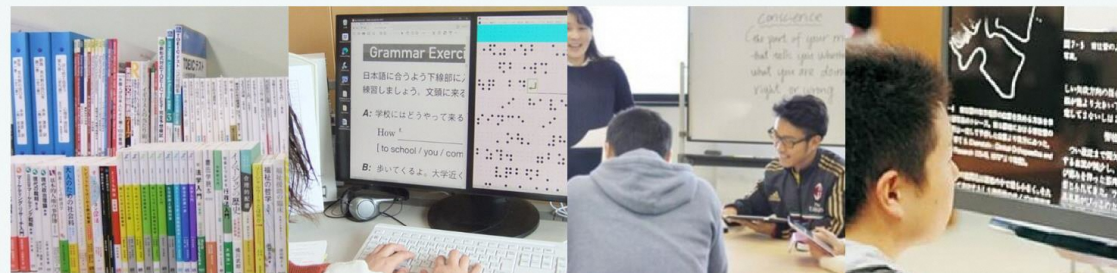
<https://accessreading.org/conso>

文部科学省委託「読書バリアフリーコンソーシアムテクノロジーハブ」（筑波技術大学）

読書バリアフリーコンソーシアム
テクノロジーハブ

[トップページ](#) [読書ガイド](#) [本を探す](#) [相談する](#) [支援者の方へ](#)

読みづらさをかかえる方へ
本にはいろんなアプローチがあります



<https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub>

3.おわりに

- ・「**IFLA・ユネスコ学校図書館宣言2025**」

→「幼児教育，初等教育，中等教育におけるラーニングコミュニティとしての学校図書館の環境，資源，学習者ごとのニーズや能力に応じた指導を受ける機会への公平なアクセスは，年齢，人種，性別，宗教，性的指向や性自認，障害，国籍，言語，職業的・経済的・文化的・社会的地位にかかわらず，保障されていなければならない。**通常の図書館サービスや資料を利用できない人々に対しては，特別なアクセス手段が提供されなければならない。**」

- 取り組みを進めるために
 - **無理なくできることから1つずつ**
 - ▶ 持続可能性を担保するためには、**計画的、組織的に取り組む**ことが大切
 - **公立図書館等をはじめ、地域のさまざまな機関、ボランティア等の人々との連携・協力**が重要

【参考文献】



野口武悟編著 『学校の「読書バリアフリー」はじめての一步：学校図書館10の事例』
（学事出版、2024年12月）

ご清聴ありがとうございました